

【現場除雪事例：H13 北海道 72】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用 / A2:気象情報確認・活用
工事種別	道路工事
工事名称	帯広広尾自動車道 芽室町 帯広JCT改良工事
施工場所	北海道河西郡芽室町西土狩
工期	平成13年6月14日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザー6t、タイヤショベル 1.2m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>除雪箇所の順番を決めて必要最低限の面積を行う。法面部 水平部 集積 運搬(排出)細部は人力を併用し、構造物、施工目的物に支障の無いように注意し、施工の後戻り、補修の施工を無くした。現場内の除雪は配置済重機を使用し、運搬路等共同で使用している箇所は1台の重機を共同で配置し施工を行った。降雪が予想される時には残土の整理、資材の集積等を行い除雪作業がスムーズに行われるようにした。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 124】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道452号芦別市旭町改良工事
施工場所	北海道芦別市
工期	平成13年2月22日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	スコップ / タイヤショベル、バックホウ 0.4m ³ 、バックホウ 0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	<p>作工物確認のため、見出しポールの設置、塩カリの散布 作工物より、50cm附近までは機械による除雪 50cm以内は人力による除雪 取除けなかった雪を塩カリ散布にて解かす。 ブルーシートによる養生ブルーシート、ポール、タイヤショベル、バックホウ</p>



除雪状況（機械）

【現場除雪事例：H13 北海道 143】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道334号斜里町知布別改良工事
施工場所	北海道斜里町 真鯉
工期	平成13年3月15日～平成14年3月13日
使用機材 / 機械	除雪スコップ / バックホウ 0.4m3 級、ブルドーザーD20A
現場除雪の工夫・留意点等	重機オペが始業時間に作業が行えるように事務所前、作業用道路を始業時間の2時間程度早く現場に来て除雪を行う。構造物の側は、機械で除雪を行うと破損する恐れがあるので人力により除雪を行う。除雪を効率よく行うため、巾の広い法面バケットを使用した。除雪作業中は片側交互通行の規制をかけて行った。



構造物箇所人力除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 75】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	夕張スーパーダム 道道付替青葉工区工事
施工場所	北海道夕張市南部青葉町国有林野内
工期	平成 13 年 9 月 6 日 ~ 平成 14 年 3 月 18 日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 2.0m ³ 級、ブルドーザー 21t 級、ブルドーザー 15t
現場除雪の工夫・留意点等	大雪の場合はブルドーザ、少雪の時はタイヤショベルと使い分け、途中の橋梁区間は高欄の破損等を考慮しタイヤショベルにて除雪した。本工事現場で使用している重機を利用した。



大雪の場合 21t 級ブルドーザ

【現場除雪事例：H13 新潟県 21】

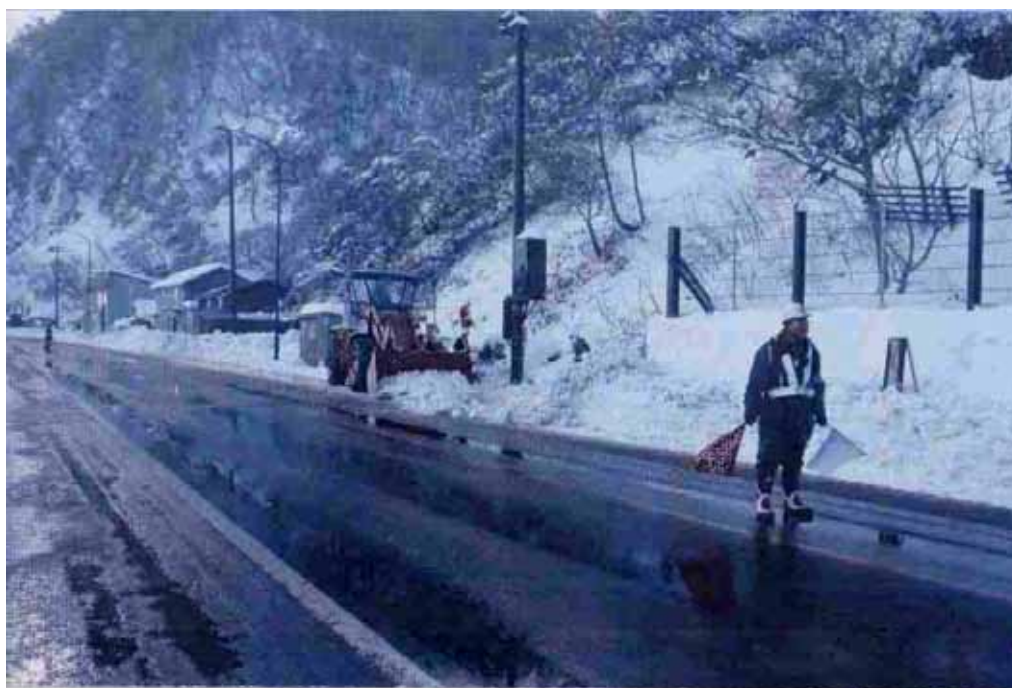
除雪工夫分類	B4:シートの活用 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	国交一種 第0003-00-00-01号 一般国道117号 交通安全施設一種・国道(歩道)工事
施工場所	新潟県十日町市大字尾崎地内
工期	平成13年8月23日～平成14年3月31日
使用機材 / 機械	スノーダンプ及びスコップ / バックホウ 0.25m ³ 級、ダンプトラック 4t 車
現場除雪の工夫・留意点等	橋台の施工に当たっては、単管パイプとビニールシートにて打設後の保温養生小屋を兼ね、なるべく川の近くまで雪が滑り落ちるよう、勾配をつけて設置しています。構造物付近は人力による除雪をする為、スノーダンプ等を使用し、機械使用が可能な場所は、バックホウ 0.25m ³ 級を使用します。尚、現場事務所兼作業員の休憩所が少し離れたところにある為、バックホウ 0.25m ³ 級で雪を集めて、4t ダンプに積み込み川まで運搬し処理をしています。



左奥のブルーシートがパイプ小屋

【現場除雪事例：H13 北海道 45】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道336号 広尾町美幌落石防護擁壁
施工場所	北海道広尾町美幌
工期	平成13年10月18日～平成14年3月5日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.4m3 級
現場除雪の工夫・留意点等	除雪箇所の前後に誘導員を配置して、一般通行の支障とならない様通行車円滑を図る。細部構造物附近は人力で除雪を行い、構造物を傷つけないよう慎重にタイヤショベルで除雪する。



【現場除雪事例：H13 富山県 4】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道平阿尾線地方特定道路改良工事
施工場所	富山県氷見市下戸津宮地内
工期	平成 13 年 12 月 25 日～平成 14 年 3 月 12 日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.25m ³
現場除雪の工夫・留意点等	丁張や構造物をきずつけないようその周辺は人力で除雪した。小型のバックホウを使用し、交通の支障にならないようにした。



【現場除雪事例：H13 福島県 8】

除雪工夫分類	C4:土砂混入軽減・防止 / D1:構造物への配慮 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号 土幌町外 中音更舗装修繕工事
施工場所	福島県土幌町 中音更
工期	平成13年8月30日～平成13年12月27日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.2m ³ 、4t ダンプ
現場除雪の工夫・留意点等	<p>除雪作業時は、舗装前の状態だったので雪と砂利が混ざらない様にタイヤショベルで路盤まで削らない様に注意しながら除雪し、残った雪については、路面ヒーターで解かしました。また縁石際の雪については、縁石を傷つけないよう人力で除雪し、残雪については路面ヒーターでは熱や煙で黒く色がついてしまうので融雪剤を散布しました。舗装工事の時は、完全に路盤上の雪を解かさなければならないので、路面ヒーターを使用しました。</p>



人力にて法肩上部の雪を下部へ投雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 54】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号豊富町豊富市街舗装修繕工事
施工場所	北海道天塩郡豊富町
工期	平成13年8月11日～平成14年1月31日
使用機材/機械	スコップ/タイヤショベル0.8m ³ 級、バックホウ0.8m ³ 級、ダンプトラック10t
現場除雪の工夫・留意点等	バックホウで歩道部の雪を車道部に排雪し、タイヤショベルで10tダンプトラックに積込む。その際、縁石は人力にて車道部に排雪し、同様に積み込む。手法等により機械名を記入のこと バックホウ タイヤショベル ダンプトラック



バックホウによる歩道除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 97】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号浦幌町釧勝トンネル補修工事
施工場所	北海道国道274号釧勝トンネル
工期	平成13年9月12日～平成14年2月8日
使用機材/機械	タイヤショベル 0.4m ³ 、バックホウ 0.2m ³
現場除雪の工夫・留意点等	看板等周りの除雪については、除雪完了後速やかに路面に布着した雪を塩カル、焼砂散布により、処理した。

【現場除雪事例：H13 北海道 116】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道237号 平取町岩知志災害防除工事
施工場所	北海道平取町 岩知志
工期	平成13年10月11日～平成14年2月20日
使用機材/機械	バックホウ0.6m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	現場内及び現場の進入路については、機械及び人力による作業融雪材の散布擁壁工の背面部においては、人力により除雪し、その後機械により排雪を行う。使用機械は、0.7m ³ バックホウで行う。



擁壁工の背面部

【現場除雪事例：H13 北海道 136】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道36号札幌市豊平橋交差点改良工事
施工場所	北海道札幌市(中央区)
工期	平成13年9月21日～平成14年3月29日
使用機材 / 機械	スコップ / タイヤショベル 1.2m ³ 、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	道路上にある、障害物まわり、丁張りの付近、保安材のまわりなどや近接する建物まわりなどは、先に人力により集積してから積み込む今回まれに見る大雪のため現場に積もった雪はこまめに現場外に搬出した。



積み込み作業

【現場除雪事例：H13 北海道 142】

除雪工夫分類	B5:除雪作業の省力・効率化 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道334号斜里町真鯉舗装工事
施工場所	北海道斜里郡斜里町真鯉
工期	平成13年3月1日～平成14年2月13日
使用機材 / 機械	タイヤショベル0.6・級、モーターグレーダー3.7m級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>積雪した場合は、施工の作業範囲を狭めてから部分的に分割して除雪しました。（除雪しても又、積雪した場合、2度手間にならない様に。） 工事施工の直前まで除雪しないでいた箇所へは工事車両や作業車の立ち入りをなるべく控え、圧雪させない様にしました。施工範囲が狭いため、機械施工で除雪を行うと施工済み構造物の破損や、路盤面、舗装面を損傷する恐れがあったので、主に人力にて集雪した後、排雪する際に、タイヤショベル及びバックホウにて、ダンプトラックに積み込む様にしました。区画線を施工した際には、広域に舗装面を露出させる必要があったので、モーターグレーダーにて除雪した後、路盤面ヒーターにて乾燥させました。結氷路盤面等を融雪・解氷乾燥させる為に、路面ヒーターを現場に常駐させ、常時使用しました。</p>
	

【現場除雪事例：H13 北海道 162】

除雪工夫分類	F:その他 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	猿払鬼志別線 地方特定（改築）工事
施工場所	北海道宗谷郡猿払村字芦野
工期	平成 13 年 7 月 25 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	スノーダンプ、スコップ / ロータリー除雪車 HTR200-175、タイヤショベル（1.2m ³ 級）FL310-1、タイヤショベル（0.4m ³ 級）LX20-3、ブルドーザー-D40PF-5、バックホウ（0.7m ³ 級）PC200-6E、バックホウ（0.45m ³ 級）312B
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工区域内に於いては、出来る限り雪を置かずに、不施工区間へ搬出し、搬入路に於いてはロータリー除雪車にて路側ブルドーザへ排雪とします。基本的の路盤上の雪は全部除雪せずに地表上を 10 cm 程度残して行った。不施工区間の除雪は、タイヤショベルにて路外に除雪できるのだが、本施工区間等は側構及び法面を壊す恐れがあるために、ロータリー除雪車にて施工となった。</p>



ロータリー除雪車による除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 176】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	築別炭鉱築別(停)線 局改工事(危険箇所)(冬)
施工場所	北海道苫前郡字曙(栄橋付近)
工期	平成13年12月26日～平成14年3月20日
使用機材/機械	バックホウ 0.7m ³
現場除雪の工夫・留意点等	既設構造物は、接触破損のないように人力で除雪。除雪作業中、高い所から滑落し、川に落ちないように足元に十分注意しながら除雪。既設物に接触破損しないように作業する。機械の足元が滑るので作業足場を十分に確保して作業する。



機械除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 2】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	下流工事用道路黒土地区工事
施工場所	青森県弘前市大字黒土地内
工期	平成 13 年 10 月 13 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	雪スコップ、スノースダンプ / バックホウ 0.7m ³ 、バックホウ 0.25m ³ 、タイヤショベル WA100
現場除雪の工夫・留意点等	現場周辺は流雪溝があって地域住民がほぼ毎日除雪を行いグレーチングの蓋が解放されればなしの所が多く重機除雪の場合損傷させないように、構造物を人力で露出させてから機械除雪を行う。歩道等の場合は大きな機械が入れない為スペースに合わせて機械を変更する必要がある。電機設備（回転灯等）がある場合はすべて人力にて行われなければならない又電機のコード等が凍っている場合もあるので十分注意して除雪を行わないと切断する事があるので注意している。



回転灯は配線を切らないように除雪

【現場除雪事例：H13 青森県 11】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	類家地区歩道工事
施工場所	青森県八戸市類家五丁目～諏訪三丁目地内
工期	平成 13 年 3 月 30 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.3m ³ 、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工中の構造物周りの除雪は、機械にて除雪すると破損の恐れがあるため、人力にて除雪し、排雪のためのダンプトラックへの積み込みは機械（バックホウ）で行い、人力機械の併用で除雪作業を行った。</p>



除雪状況

【現場除雪事例：H13 青森県 19】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	弘前岳鱒ヶ沢線橋梁架替（一本杉橋）工事
施工場所	青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字芦范町地内
工期	平成13年9月8日～平成14年3月10日
使用機材/機械	雪はね/バックホウ山積（0.8m ³ ）、バックホウ山積（0.4m ³ ）、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	コンクリート構造物等を破損しないように、人力除雪歩先行し、その後機械除雪を行う。



機械除雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 12】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	主要地方道久慈岩泉線山根地区山根1号橋(仮称)橋梁下部工工事
施工場所	岩手県久慈市山根
工期	平成13年10月6日～平成14年3月20日
使用機材/機械	除雪スコップ/ブルドーザ6t、バックホウ0.45m ³
現場除雪の工夫・留意点等	構造物の周囲であるので人力にて行った。工事用道路はバックホウ及びブルドーザをつかい除雪した



バックホウ排雪

【現場除雪事例：H13 秋田県 10】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	緊急地方道路整備工事 HF56-10
施工場所	秋田県土淵杉山田線 西仙北町 杉山田 地内
工期	平成13年9月20日～平成14年3月20日
使用機材/機械	0.25m ³ バックホウ、0.45m ³ バックホウ
現場除雪の工夫・留意点等	まず、普通作業員がスコップを使用して構造物あるいは、側溝があるかを確認してから、重機を使用して除雪します。



側溝布設のため人力・重機で除雪

【現場除雪事例：H13 福島県 2】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	防雪柵設置撤去工事
施工場所	福島県耶麻郡猪苗代町大字山浮～福島県河沼郡会津坂下町大字坂本
工期	平成 13 年 11 月 30 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	角スコップ (ステンレス製) / バックハウ PC-30-7 (0.1m ³) タイヤシヨベル WA-100 (1.2m ³)
現場除雪の工夫・留意点等	吹溜式設置 (借地の田) - 人力により設置方向を雪踏みし支柱及びアンカー杭箇所をスコップで除雪。吹払式設置 (車道部) - 人力により防雪柵上部および前後をスコップで除雪。吹払式設置 - 人力と重機 (PC-30) で歩道及び防雪柵上部前後を除雪する。



吹払式 (歩道部) 作業用車輛停車場

【現場除雪事例：H13 福島県 3】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 喜久田地区舗装工事
施工場所	福島県郡山市富田町天神林～郡山市富久山町八山田字串田地内
工期	平成13年7月24日～平成14年3月29日
使用機材/機械	除雪用スコップ/タイヤショベル TS30、バックホウ 0.4m3
現場除雪の工夫・留意点等	コンクリート型枠等があった為、凍って固まらないうちに人力にて除雪を行った。また、人力にて集めた雪をタイヤショベルやバックホウにて積込み場内の空地に運搬した。



【現場除雪事例：H13 福島県 4】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度 雨沼橋下部工工事
施工場所	福島県南会津郡下郷町大字南倉沢地内
工期	平成12年12月28日～平成14年2月8日
使用機材/機械	トラクターショベル WA100M-3E
現場除雪の工夫・留意点等	道路のガードレールを、こわさない様注意した。



【現場除雪事例：H13 福島県 5】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	市道付替黒沢・鳥川線白根沢橋工事前進入路工事
施工場所	福島県福島市飯坂町字茂庭地内
工期	平成 13 年 3 月 20 日～平成 14 年 3 月 22 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザーD4P (15 t)、バックホウ 0.45m ³
現場除雪の工夫・留意点等	補強土壁の施工箇所について、壁面材、敷網材などを設置しているためシートによる養生と、人力による除雪を行った。現場内の除雪については、転落防止ように土堰堤、路肩表示が有るためブルドーザーで一気に除雪出来ないの、バックホウにより車両、重機が最低限度通れるように作業した。



補強土壁部人力除雪

【現場除雪事例：H13 福島県 9】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	工第00-340-1122号 地方道改築工事
施工場所	福島県河沼郡湯川村大字清水田字前田地内
工期	平成13年3月6日～平成14年3月20日
使用機材/機械	スコップ/バックホウ 0.25、ローダー、ダンプ 4t,2t,11t、ブルドーザー 3t
現場除雪の工夫・留意点等	現場内で施工した構造物を破損しない様、先に人力にてそのヶ所を除雪、その後銃器等により除雪、搬出する。



バックホウにて除雪作業中

【現場除雪事例：H13 福島県 13】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	工第01-350-0117 国道改築工事
施工場所	福島県国道459号線 喜多方市上三宮町吉川地内
工期	平成13年7月2日～平成14年3月13日
使用機材/機械	スコップ/バックホウ0.25m ³ 、ブルドーザーD30 12t級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事区間が冬季通行区間の為、現場までブルドーザを待機し、約1.5km区間を除雪しました。(車輛通行可の巾員のみ)現場内におきましては仮設資材等がある為、人力及びバックホウ0.25m³にて除雪しました。除雪した雪につきましては、現場内の残地及び沢側の方に処理しました。資材搬入路については、ブルドーザ及びバックホウにて作業仮設材周辺及び躯体周辺につきましては人力(スコップ)にて作業 重機作業により資材及び仮設材、軀対の破損をなくす為1番目に通路(現場まで)の確保除雪した雪の処理(当初より冬季間施工の為に残地の確保)</p>
	
<p>進入路出入口除雪状況</p>	

【現場除雪事例：H13 新潟県 7】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	ふる道零第1160-50号
施工場所	新潟県糸魚川市乗倉
工期	平成13年3月21日～平成14年3月22日
使用機材/機械	スコップ、スノーダンプ/Mグレーダー-3.1m級、バックホウ 0.45m ³ ～0.7m ³ 、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	既設及新設構造物を破損しない様、機械除雪で構造物に接近する場合は、誘導員の合図により除雪を行った。



【現場除雪事例：H13 新潟県 24】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	地方特定道路整備工事
施工場所	新潟県北魚沼郡守門村渋川
工期	平成 13 年 10 月 1 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	スノーダンプ(人力用)、アルミ製ダンプ/D20P ブルドーザー、0.7 m ³ バックホウ、PC120 バックホウクレーン仕様車、PC 75 UU排土板付、不整地運搬車 2 t
現場除雪の工夫・留意点等	施工した構造物を損傷しないようその付近は人力にて除雪。一時的に場外にストックし、後日ダンプ排雪。



狭い場所、構造物付近は人力除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 29】

除雪工夫分類	F:その他 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	地特改築第27-2-1-1号 (主)栃尾山古志線地方特定道路整備事業 田之口一号橋下部工
施工場所	新潟県栃尾市田之口地内
工期	平成13年9月28日～平成14年3月25日
使用機材 / 機械	角スコップ、スノーダンプ / 除雪ブルドーザー
現場除雪の工夫・留意点等	資材搬入路が積雪により断たれないように積雪状況により除雪車により除雪を行った。また、施工現場内においては足場組をし、ブルーシートによる養生を行いコンクリート打設前の型枠内に雪が入らないように注意を払い、その都度人力除雪を行った。



足場上に積雪した際の除雪状況

【現場除雪事例：H13 新潟県 31】

除雪工夫分類	F:その他 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	地特改築第27-4-2号 (主)栃尾守門線 地方特定道路整備(改築) A2橋台工事
施工場所	新潟県栃尾市繁窪 地内
工期	平成13年10月12日～平成14年3月15日
使用機材/機械	角スコップ、スノーダンプ/バックホウ 0.70m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	資材搬入路は人力により集積し、バックホウにて空地に山積みを行った。また施工現場内においては足場にブルーシートを張り、型枠内に雪が入らない様、その都度、人力により除雪を行った。



床掘完了

【現場除雪事例：H13 宮城県 8】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / D2:路面・法面への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度県道改特定05001-002号 新田道路改良工事
施工場所	宮城県登米郡迫町新田地内
工期	平成13年1月29日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	スコップ、ほうき / バックホウ 0.4m ³ 、ブルドーザ 3t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>構造物付近は、損傷をあたえないように人力にて除雪した。一度に現地盤まで除雪すると、地盤を傷つけるので3cm程度上げたところまで機械で除雪し、残りを人力で除雪した。ブルドーザで押し切れない時は、排土板付のバックホウで集積し排除した。搬入路として利用している周辺の町道も一緒に除雪した。</p>